



さくら日和

(校長室より)

令和7年7月18日発行

吉野さくら学園

校長 山田 真路

No. 5

本日、7月18日金曜日、令和7年度第1学期の終業式を迎えました。保護者の皆さま、地域の皆さま、関係者の方々には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

今年の吉野の桜は、4月中旬頃が見頃でした。小学校4年生の桜散策、**中学校2年生の吉野山観光案内**ともに、桜の花を愛でながら活動することができ、これぞ吉野の春を体感しました。

6月上旬には、**小学校1年生と4年生でさくらんぼ拾い**に吉野山へ出かけました。昨年度はさくらんぼの実がなかったので行けなかったのですが、今年はさくらんぼがたくさん実っており、子どもたちは落ちているさくらんぼや吉野山保勝会の方々がシロヤマサクラの枝から落としてくれるさくらんぼをワイワイ言いながら拾いました。学校へ持ち帰ったさくらんぼは、4年生が果肉を落として種だけにします。それを陰干ししたあとプランターの土の中に埋めました。発芽するのは来年の2月です。それまで、欠かさず水やりをします。今年もこうした桜の取り組みを、次につなげることができました。

中学校3年生の友灯づくりは進行中です。吉野材や吉野和紙の特性を存分に生かした自分だけの灯りづくりをします。**小学校3年生は今年も国栖地区へ遠足**に行き、製箸工場や和紙の工房を見学させていただき、国栖地区の様子を学びましたね。これまでの学びを思い出しつつ、吉野の材木に関わる方々、和紙づくりに関わる方々、灯りづくりに関わる方々はじめ、たくさんの方々に支えてもらっての製作活動です。夏休みで完成させ、秋には複数の場所で展示されます。鑑賞してくれる人の心にも染みわたる今年の友灯づくりをします。

中学校1年生は福祉体験をして、だれもが住みやすい社会について考えました。実際に車いすに乗って学校内を巡り、車いすに乗ったままでも生活しやすいのか確かめました。実際にその立場に立って考える、体験することは大切なことです。普段は気づかないことに気づかされます。今回の体験を通して、私たちが生きている社会を様々な角度から見つめる目と心を養うことができたでしょう。

6月下旬に**小学校5年生は宮滝へ野外活動**に出かけました。このときの活動の一つとして、喜佐谷地区の象川(きさがわ)の会の皆さんと川へアマゴの放流をさせていただきました。今回アマゴを放流した象川は、奈良時代に編纂された万葉集に収録されている歌に詠まれています。当時の都人(みやこびと)にとって、象川や宮滝地区は、あこがれの地であったようです。このようなことに思いをはせながら、放流したアマゴに行ってらっしゃいというまなざしを向ける5年生の姿がほほえましかったです。

小学校2年生と1年生の学校探検もほほえましかったです。小学校2年生が学校探検ツアーを企画し、今年の4月に入学した小学校1年生と一緒に学校巡りをしました。校長室にも「失礼します」と入ってきて、「ここは校長室です。これは、…。」等と説明していました。1年生のために一生懸命な2年生でした。

このように、たくさんの方々の活動を通して1学期の学びをすすめました。これらの活動を支えてくださった皆さま、本当にありがとうございました。明日から夏休みです。家庭、地域で過ごすことが多くなります。安全に楽しく、自分らしい夏の日々を過ごして欲しいと思います。

平和について考えてみましょう ～考えたら、平和のための活動をすすめましょう～

小学校6年生は、広島で原子爆弾の被害を目の当たりにした吉野町にお住まいの方からお話を伺うことができました。6年生は広島へ修学旅行に行き、平和公園で記念碑を見たり、資料館で展示物を見たりして平和への思いを強くしていたところ、今回、実際に体験されたお話を直接聞かせていただくことができて、より平和への思いを強くしたようです。貴重なお話を聞かせていただきました。ありがとうございました。

今年は、太平洋戦争が終結してから80年目の節目を迎える年です。8月15日にあわせて戦争に関する展示会が開催されたり、テレビ等で特集番組が放映されたりすることでしょう。また、昨年の中学校沖縄修学旅行で民泊させていただいた伊江島での戦争を題材にした映画や、数多くの戦いから生還した「雪風」という名の船を題材にした映画、原子爆弾を投下された長崎の街を題材にした映画等、戦争・平和をテーマにした映画が、複数上映されるようです。

日本が戦争をしていた昭和の時代を数えると、今年は昭和100年にあたります。今年の夏は、平和についてより深く考えることができる機会と捉えて、自分なりの平和学習をすすめてみてはいかがでしょうか。